

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

- 1 健康管理事業推進委員及び健康保険事務担当者合同会議
- 2 事業所毎スコアリングレポートの共有
- 3 事業所別健診レポートの提供

加入者への意識づけ

- 1 広報事業
- 2 ICT(アプリ)を活用した情報提供
- 3 ジェネリック医薬品の利用促進

個別の事業

- 1 特定健康診査（被扶養者）
- 2 特定保健指導
- 3 特定保健指導（健保連共同事業・特保・モデル・若年者）
- 4 特定保健指導（健保連共同事業・共同設置保健師）
- 5 受診勧奨通知
- 6 糖尿病性腎症重症化予防・脳卒中筋梗塞発症予防（健保連共同事業）
- 7 服薬者保健指導（健保連共同事業）
- 8 重症化予防プログラム（組合運営サポート事業）
- 9 健康診査
- 10 生活習慣病健診（半日人間ドック）
- 11 歯科検診（若年者）
- 12 歯科検診（前期高齢者対策）
- 13 精密検査（二次検査）
- 14 脳検診
- 15 前立腺検診
- 16 婦人科等検診
- 17 禁煙対策事業
- 18 疾病予防対策救急薬品の配布
- 19 インフルエンザ予防接種
- 20 体育奨励補助事業

【保健事業の基盤】職場環境の整備

1	事業名	健康管理事業推進委員及び健康保険事務担当者合同会議							
健康課題との関連		該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）							
分類									
注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～65 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～65 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	シ	実施方法	計画	合同会議の開催（年1回）			予算額	206千円
	実績	シ		実績	合同会議の開催（年1回）				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ	実施体制	計画	事業主と保健師及び健康管理推進委員で事業状況確認及び実施状況意見交換の場とする			決算額	12 千円
	実績	ア,ウ		実績	事業主と保健師及び健康管理推進委員で事業状況確認及び実施状況意見交換の場とする				
実施計画 (令和5年度)		年1回（4月）開催 ・保健事業全般の実施状況 ・今年度の保健事業のあり方、実施方法の確認・説明・意見交換の場として活用							
振り返り	実施状況・時期		4月開催,20事業所21名の参加						
	成功・推進要因		各種保健事業の前年度実施状況と新年度計画の説明、組合運営サポート事業（健康管理アプリ、卒煙プログラム）の周知、マイナンバーカードの普及、利用促進						
	課題及び阻害要因		事業所が一堂に会する貴重な機会であるが、全事業所の出席ではなく、限られた時間での情報提供となる。周知不足は適宜、健診や特定保健指導時に合わせて補足が必要。 事業主の参加が得られない						
評価		1. 39%以下							
事業目標									

保健事業に関する情報提供や意見交換により、円滑な保健事業の運営を図る

アウトプット指標	開催回数（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回　【達成度】100.0%）-[-]		
アウトカム指標	事業説明会なので評価するものでない (アウトカムは設定されていません)		

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

2	事業名	事業所毎スコアリングレポートの共有									
健康課題との関連		特定保健指導対象者の割合が24%と組合全体平均、業態平均よりも高い									
		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い									
分類											
注1)事業分類	計画	1-イ	実施主体	計画	1．健保組合		予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存	
	実績	1-イ		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない									
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～65 対象者分類 加入者全員									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～65 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類	計画	シ	実施方法	計画	事業所版健康スコアリングレポートを健康管理推進委員会議などで説明し、特定健診の受診状況、健康状態、生活習慣の現状を共有。				予算額	0千円	
	実績	シ		実績	事業所版健康スコアリングレポートを健康管理推進委員会議などで説明し、特定健診の受診状況、健康状態、生活習慣の現状を共有。						
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	各事業所の担当者との情報の共有をし、各事業所にて加入者への周知、健康づくりの取組を促す。				決算額	0千円	
	実績	ア		実績	各事業所の担当者との情報の共有をし、各事業所にて加入者への周知、健康づくりの取組を促す。						
実施計画 (令和5年度)		年1回（4月） 健康スコアリングレポートを各事業所に配布									

振り返り	実施状況・時期	4月開催の健康管理推進委員会事業主及び健康管理推進委員に説明		
	成功・推進要因	特定健診・特定保健指導の実施率、健康状態と生活習慣に関するリスクについて共有した。 健保組合全体と各事業所について全国平均や同業態との比較、経年変化を理解し、今後の取り組みを考えるツールとして活用できる。		
	課題及び阻害要因	規模の小さい事業所にはレポートが無い。前々年度の実績である。		
評価	5．100%			
事業目標				
加入者全体の健康状況を共有し、疾病予防・健康づくりに関する取り組みを促進する				
アウトプット指標		配布回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/1回 【達成度】100.0%） -[-]		
アウトカム指標		効果の測定ができないため、アウトカム設定はしない (アウトカムは設定されていません)		
外部委託先	計画	外部委託しない		
	実績	委託の有無	外部委託しない	

3	事業名	事業所別健診レポートの提供									
健康課題との関連	特定保健指導対象者の割合が24%と組合全体平均、業態平均よりも高い										
	生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い										
	血圧、血糖、脂質で受診勧奨値以上かつ未受診の者、治療を中断している者が一定数存在する										
分類											
注1)事業分類	計画	1-イ	実施主体	計画	1．健保組合		予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存	
	実績	1-イ		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない									
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
	実績	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
注2)プロセス分類	計画	エ,シ	実施方法	計画	対象事業所にレポートを送付（年1回）				予算額	0千円	

	実績	エ,シ		実績	対象事業所にレポートを送付（年1回）		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	各事業所の担当者との情報の共有をし、各事業所にて加入者への周知、健康づくりの取組を促す。	決算額	0 千円
	実績	ア		実績	各事業所の担当者との情報の共有をし、各事業所にて加入者への周知、健康づくりの取組を促す。		
実施計画 (令和5年度)	年1回（3月） 事業所別健診レポートを各事業所に配布						
振り返り	実施状況・時期 4月開催の健康管理推進会議にて23事業所に配布。						
	成功・推進要因						
	健康状態と生活習慣リスクについて健保組合との比較、各事業所間のランキングを示し、また前年度の受診勧奨結果報告も行った。前年度の最新健診結果を用いて作成したレポートとなり、スコアリングレポートよりも新しいデータであること、スコアリングレポートのない小規模事業所も健康課題を可視化することができる。						
	課題及び阻害要因 スコアリングレポートと重複する事業所もあることから、配付目的の説明が必要。						
評価	5．100%						
事業目標							
健診結果の傾向に関する情報を共有し、疾病予防に向けた取り組みを促進する							
アウトプット指標 レポート送付（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/1回 【達成度】 100.0%） -[-]							
アウトカム指標 効果の測定ができないため、アウトカム設定はしない (アウトカムは設定されていません)							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1 事業名	広報事業								
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	年4回、広報誌を発行・配布	予算額	7,926千円		
	実績	エ,ス		実績	ホームページを活用				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	年4回、事業所を経由し被保険者に配布、また、営業所用にすこやかを毎月送付	決算額	2,703 千円		
	実績	ス		実績	営業所用にすこやかを毎月送付、被保険者等にはホームページにて周知				
実施計画 (令和5年度)	情報誌の配布								
振り返り	実施状況・時期		すこやかファミリー（各営業所へ年12回） ホームページ（健康保険制度改正やマイナ保険証の利用促進、健保組合の事業内容、各種申請用紙を周知） 健康保険のしおり（新入社員や中途採用者へ配付）						
	成功・推進要因		ホームページを活用し、健康保険組合の事業内容、各種助成内容が周知している						
	課題及び阻害要因		ホームページの閲覧数を増やし、ウォークラリー等の参加につなげる						
評価	1. 39%以下								
事業目標									

健康保険制度の改正等を周知

アウトプット指標

配布回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：4回/0回　【達成度】 0.0%）-[広報誌の配付をやめ、ホームページでの周知に切り替えた]

アウトカム指標

広報誌等を配布するものであり事業を評価するものでない
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先

計画

外部委託しない

実績

委託の有無

外部委託しない

2

事業名

ICT(アプリ)を活用した情報提供

健康課題との関連

生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い
血圧、血糖、脂質で受診勧奨値以上かつ未受診の者、治療を中断している者が一定数存在する

分類

注1)事業分類

計画

2

実施主体

計画

1．健保組合

予算科目

保健指導宣伝

新規・既存区分

新規

実績

2

実績

1．健保組合

共同事業

共同事業ではない

事業の内容

対象者

計画

対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員

実績

対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員

注2)プロセス分類

計画

エ

実施方法

計画

アプリを使用し、健診結果や健康・医療に関する情報を提供する

予算額

0千円

実績

エ

実績

アプリを使用し、健診結果や健康・医療に関する情報を提供する

注3)ストラクチャー分類

計画

ス

実施体制

計画

健康アプリやマイナポータルを活用し、結果の経年変化を見れるようにする

決算額

0千円

実績

ス

実績

健康アプリやマイナポータルを活用し、結果の経年変化を見れるようにする

実施計画
(令和5年度)

アプリを使用し、健康や医療に関する情報を提供する

振り返り	実施状況・時期		健康アプリ利用促進、半日人間ドック健診等のマイナポータルへのタイムリーな登録
	成功・推進要因		健康アプリ利用者のウォーキング週間イベントの開催
	課題及び阻害要因		健康アプリの利用率向上、マイナポータルでの健診等経年変化を確認できることを周知
評価	5. 100%		
事業目標			
健康や医療に関する情報のタイムリーな提供			
アウトプット指標		ログイン率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100%） -[-]	
アウトカム指標		効果の測定ができないためアウトカム設定はしない (アウトカムは設定されていません)	
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

3 事業名		ジェネリック医薬品の利用促進							
健康課題との関連		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い							
分類									
注1)事業分類	計画	7-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	7-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	エ,キ,ス	実施方法	計画	特に年齢を決めず、被保険者・被扶養者に対し、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額がどのくらいに軽減されるのかについてお知らせを送付する。		予算額	0千円	
	実績	エ,キ,ス		実績	特に年齢を決めず、被保険者・被扶養者に対し、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額がどのくらいに軽減されるのかについてお知らせを送付する。				
注3)ストラクチャー分類		計画	ス	実施体制	計画	毎月ジェネリック医薬品マスタを更新し、可能な限り最新の情報で通知を行う		決算額	0千円

	実績	ス		実績	毎月ジェネリック医薬品マスタを更新し、可能な限り最新の情報で通知を行う		
実施計画 (令和5年度)	一定額以上の減額が期待される方を対象とし、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知を行う						
振り返り	実施状況・時期		効果検証を踏まえ、4か月に1回通知				
	成功・推進要因		毎回、同一者とならないよう注意し通知				
	課題及び阻害要因		大きな薬剤の変更はなかったが、今後も周知を含め継続が必要				
評価	1．39%以下						
事業目標							
ジェネリック使用割合80%以上の維持							
アウトプット指標		切り替え差額通知の実施（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：3回/4回　【達成度】100%）-[-]					
アウトカム指標							
ジェネリック医薬品使用割合（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：85%/89%　【達成度】100%）目標値は平成30年度値 82.37%（分析端末による2月診療分）を基準に設定[ジェネリック利用率89.09% 通知件数52件、変更件数15件、変更金額59.98%]							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

【個別の事業】

1	事業名	特定健康診査（被扶養者）							
健康課題との関連		被扶養者の特定健診の受診率が低く、加入者全体の健診受診率が目標数値（85%）に達していない							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	・集合健診 ・個別健診（家族健診）等受診機会の拡大			予算額	1,112千円
	実績	ケ		実績	・集合健診 ・個別健診（家族健診）等受診機会の拡大 ・組合運営サポート事業の活用（レディース健診）				
注3)ストラクチャー分類	計画	エ,キ,ク	実施体制	計画	自治体で実施分 保険者協議会で実施分（仙台市内） 契約医療機関（家族健診）			決算額	1,224 千円
	実績	エ,キ,ク		実績	自治体で実施分 保険者協議会で実施分（仙台市内） 契約医療機関（家族健診） 組合運営サポート事業（レディース健診）				
実施計画 (令和5年度)		・家族健診や生活習慣病健診等の受診機会の拡大を図る ・職場で健診を受けた方の結果提供の促進							

振り返り

実施状況・時期	対象者数 1022名 受診者数 309名 実施率 30.2%
	健診内訳 特定健診 74名 巡回健診 44名 ドック等 58名 レディース 133名 健診
成功・推進要因	各種健診等の受診増の加え、レディース健診の実施により、未受診者対策につながった
課題及び阻害要因	特定健診の受診率は依然として低い

評価	1. 39%以下
----	----------

事業目標

- ・受診の利便性を図り特定健診未受診者を減少させ、健康意識を向上させる

アウトプット指標	送付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）健診案内通知送付率 100% [-]
アウトカム指標	実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：48.2%/30.2% 【達成度】 62.7%）特定健診受診率を前年比7.5%増加 集合健診の実施率を30%に増加 家族健診の実施率を20%に増加[-]

外部委託先	計画	外部委託しない		
	実績	委託の有無	外部委託しない	

2 事業名 特定保健指導

健康課題との関連	特定保健指導対象者の割合が24%と組合全体平均、業態平均よりも高い			
	生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い			

分類

注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-ア		実績	1. 健保組合				

共同事業	共同事業ではない
------	----------

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ 74 対象者分類 被保険者,被扶養者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ 74 対象者分類 被保険者,被扶養者					
注2)プロセス分類	計画	オ,ケ,コ,シ	実施方法	計画	半日人間ドック時の面談実施	予算額	5,911千円
	実績	オ,ケ,コ,シ		実績	半日人間ドック時の面談実施 レディース健診時の面談実施		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,エ,キ	実施体制	計画	契約医療機関	決算額	5,286 千円
	実績	ア,エ,キ		実績	契約医療機関 レディース健診実施健診機関		
実施計画 (令和5年度)	継続						
振り返り	実施状況・時期 対象者数 積極的支援 192名 動機付け支援 146名 受診者数 積極的支援 152名 動機付け支援 126名 実施率 積極的支援 79.2% 動機付け支援 86.3%						
	成功・推進要因 受診者の生活習慣の改善・見直し等健康意識の向上に努めた レディース健診の実施により、特定保健指導の対象者が見え、実施につながった						
	課題及び阻害要因 受診勧奨の強化と適正服薬指導により、保健指導対象者の減少を図る						
評価	3 . 60%以上						
事業目標							

- ・保健指導の実施と受診勧奨値の方へ医療機関受診の促進
- ・生活指導等及び適正な受診勧奨による、保健指導対象者の減少

アウトプット指標 実施率（【平成29年度末の実績値】16.0%【計画値/実績値】令和5年度：34.4%/48.6% 【達成度】141.3%）特定保健指導実施率：6年間で20%増加
健康管理推進委員会（年1回）の開催[実績値＝全体の終了率と比較する48.6%（R6.6現在）
※確定の実績値と乖離あり]

アウトカム指標
該当割合（【平成29年度末の実績値】24.6%【計画値/実績値】令和5年度：18.0%/22.1% 【達成度】95.0%）特定健診保健指導者の該当割合：6年間で5.7%減少[※実績値＝全体の該当割合（736名／3334名）と比較するR5＝22.1%（R6.6現在）
※達成率：(100-22.1)／(100-18.0)＝95.0%]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

3	事業名	特定保健指導（健保連共同事業・特保・モデル・若年者）							
健康課題との関連	契約医療機関が遠いなど、一部の地域で特定保健指導実施率が低い								
	特定保健指導対象者の割合が24%と組合全体平均、業態平均よりも高い								
	生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア		実績	1．健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	オ,ケ,シ	実施方法	計画	巡回指導		予算額	0千円	
	実績	オ,ケ,シ		実績	巡回指導				

注3)ストラクチャー分類	計画	ア,エ	実施体制	計画	健保連の共同事業(外部機関) 特定保健指導、モデル実施、若年者の総計	決算額	31 千円
	実績	ア,エ		実績	健保連の共同事業(外部機関) 特定保健指導、モデル実施、若年者の総計		
実施計画 (令和5年度)	・ 外部委託機関による保健指導						
振り返り	実施状況・時期		対象者数 積極的支援 315名（モデル実施7名含む） 動機付け支援 106名 受診者数 積極的支援 52名（モデル実施3名含む） 動機付け支援 31名 実施率 積極的支援 16.5%（モデル実施含む） 動機付け支援 29.2% 若年者（周辺事業） 対象者数 32名 参加者数 2名 実施率 6.3%				
	成功・推進要因		今年度は組合運営サポート事業を活用し積極的支援の実施率が向上				
	課題及び阻害要因		受診結果受領後の特定保健指導対象者の実施が低い				
評価	1．39%以下						
事業目標							
・ 保健指導の実施と受診勧奨値の方へ医療機関受診の促進 ・ 受診勧奨者等への生活指導、適正な受診勧奨							
アウトプット指標		案内送付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）対象者への送付 1 0 0 %実施 [特保・モデル・若年者を含める]					
アウトカム指標		実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：50%/18.8% 【達成度】 37.6%）令和3年3月 目標値修正[対象者数 特保398名 モデル23名 若年者32名 実施者数 特保80名 モデル3名 若年者2名 実施率 実施者数85名／対象者数453名＝18.8%]					
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

4	事業名	特定保健指導（健保連共同事業・共同設置保健師）
---	-----	-------------------------

健康課題との関連	生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い								
	血圧、血糖、脂質で受診勧奨値以上かつ未受診の者、治療を中断している者が一定数存在する								
	特定保健指導対象外の若年者や非肥満者の中に、生活習慣病のリスク保有者が一定数存在する								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35 ～ 39 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35 ～ 39 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	オ,ケ,シ	実施方法	計画	【共同設置保健師による面談指導】 生活習慣病リスクが高く、かつ受診していない方を対象に生活習慣病発症および重症化を防ぐために、受診行動や生活習慣改善を促す目的で保健指導を行う 1.対象者：35歳～39歳で腹囲・BMIともにA判定であるが、脂質・血糖・血圧が保健指導判定にあるもの 2.実施内容：個別面談もしくは文書による保健指導 3.評価：面談後の生活習慣、健診結果の改善の有無を確認	予算額	0千円		
	実績	オ,ケ,シ		実績	【共同設置保健師による面談指導】 生活習慣病リスクが高く、かつ受診していない方を対象に生活習慣病発症および重症化を防ぐために、受診行動や生活習慣改善を促す目的で保健指導を行う 1.対象者：35歳～39歳で腹囲・BMIともにA判定であるが、脂質・血糖・血圧が保健指導判定にあるもの 2.実施内容：個別面談もしくは文書による保健指導 3.評価：面談後の生活習慣、健診結果の改善の有無を確認				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,エ	実施体制	計画	共同設置保健師が全対象者の健診結果から抽出し通知文を作成、事業所担当者に個人情報に配慮した上で、該当者を情報共有し、案内通知を配布依頼	決算額	0千円		
	実績	ア,エ		実績	共同設置保健師が全対象者の健診結果から抽出し通知文を作成、事業所担当者に個人情報に配慮した上で、該当者を情報共有し、案内通知を配布依頼				
実施計画 (令和5年度)	・前年度健診結果に基づく対象者抽出								

振り返り	実施状況・時期		【共同設置保健師】 対象者数 11名 面談指導 3名（27.2%） 文書指導 8名（72.7%）
	成功・推進要因		面談指導は3名、それ以外は文書での指導に切り替えた。
	課題及び阻害要因		若年から健康管理に関する意識の改善、生活習慣の改善や受診行動が重要課題であり、面談の成果はあるものの、健保組合来所による面談は実施率の低さが課題
評価	2．40%以上		
事業目標			
・生活習慣病予防に対する理解を深め、生活習慣の改善による生活習慣病リスクの軽減を図る			
アウトプット指標			
実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100%）・対象者（若年ハイリスク者）への案内送付 1 0 0 %実施[-]			
アウトカム指標			
生活習慣の改善率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：20%/45.5% 【達成度】 227.5%）-[翌年健診の結果、改善者 5人（45.5%）、継続指導該当者 4人（36.4%）、悪化2人（18.2%）]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

5	事業名	受診勧奨通知							
健康課題との関連		血圧、血糖、脂質で受診勧奨値以上かつ未受診の者、治療を中断している者が一定数存在する							
分類									
注1)事業分類	計画	4-才	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	4-才		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 64 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 64 対象者分類 基準該当者							

注2)プロセス分類	計画	イ,エ,キ,ク,シ	実施方法	計画	生活習慣病の悪化を防ぐため、健診で血圧・血糖・脂質が受診勧奨値を超えた者に対し、医療機関の受診を勧める。 1.対象者の抽出：健診結果から受診勧奨値に該当するが未受診の対象者を抽出する。 2.実施方法：リーフレット、経年データの通知文を送付する。 3.評価：通知発送から3か月経過した後、レセプトから受診状況を確認する	予算額	0千円
	実績	イ,エ,キ,ク,シ		実績	生活習慣病の悪化を防ぐため、健診で血圧・血糖・脂質が受診勧奨値を超えた者に対し、医療機関の受診を勧める。 1.対象者の抽出：健診結果から受診勧奨値に該当するが未受診の対象者を抽出する。 2.実施方法：リーフレット、経年データの通知文を送付する。 3.評価：通知発送から3か月経過した後、レセプトから受診状況を確認する		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画	・健診結果がでたら保健師がチェック、対象者を抽出、通知文を作成。 ・事業所担当者に個人情報に配慮した上で、該当者の情報共有し、該当者に通知の配付の依頼。	決算額	0千円
	実績	ア,イ		実績	・健診結果がでたら保健師がチェック、対象者を抽出、通知文を作成。 ・事業所担当者に個人情報に配慮した上で、該当者の情報共有し、該当者に通知の配付の依頼。		
実施計画 (令和5年度)	・健診結果に基づき、血圧、血糖、脂質の項目で受診勧奨値以上かつ未治療の対象者を抽出 ・対象者に受診勧奨通知を送付し、レセプトを用いて受診確認を行う						
振り返り	実施状況・時期 受診勧奨 対象者 299名 受診者 59名（受診率19.7%） 実施結果について組合健保全体と各事業所別の状況を報告した。						
	成功・推進要因 ・3年ぶりに受診率の増加した（3.0%） ・通知文書のデザインを刷新し、受診行動の必要性を強調した。また、リーフレットも新しくし、リスク重複者や連続年の対象者には個別的な経年データの図示や、受診の必要性について理解を促す工夫を心掛けた。 ・事業所には、通知送付の依頼する際、受診状況の報告をその都度行い、継続的な情報共有と協力を心掛けた。						
	課題及び阻害要因 受診勧奨の常態化や意識のマンネリ化などが課題。						
評価	1. 39%以下						
事業目標							
生活習慣病の早期発見と重症化予防							
アウトプット指標 受診勧奨通知発送率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】100%）-[-]							
アウトカム指標 医療機関受診率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和5年度：20%/19.7% 【達成度】98.5%）-[-]							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績						

	実績	委託の有無	外部委託しない
--	----	-------	---------

6	事業名	糖尿病性腎症重症化予防・脳卒中心筋梗塞発症予防（健保連共同事業）							
健康課題との関連		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い							
分類									
注1)事業分類	計画	4-力	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存
	実績	4-力		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	オ,ケ,シ	実施方法	計画	健診の結果、血糖・血圧のコントロール不良なものに対し、面談指導。			予算額	0千円
	実績	オ,ケ,シ		実績	健診の結果、血糖・血圧のコントロール不良なものに対し、面談指導。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ	実施体制	計画	健保連の共同事業（外部機関）			決算額	7千円
	実績	ア,ウ		実績	健保連の共同事業（外部機関）				
実施計画 (令和5年度)		・糖尿病性腎症重症化予防 ・脳卒中心筋梗塞発症予防							

振り返り	実施状況・時期		糖尿病性腎症重症化予防 対象者数 17名 参加者数 3名 終了者数 3名 実施率 17.6% 脳卒中、心筋梗塞発症予防 対象者数 17名 参加者数 1名 終了者数 0名 実施率 0%
	成功・推進要因		参加者は平均で腹囲・体重に改善が見られた
	課題及び阻害要因		重症化リスクの高い対象者であり、早い段階からの指導を該当者全員に実施することが必要である。 周知を強化し、本プログラムの啓蒙に努める。

評価	1．39%以下
----	---------

事業目標	
・対象者への生活指導、適正な受診勧奨	
アウトプット指標	プログラムの実施率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：10%/11.8%　【達成度】118.0%）対象者の送付100%実施 実施率は10%以上[実績値　参加者数合計4名／対象者数34名＝11.8]
アウトカム指標	
プログラムの終了率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：60%/75%　【達成度】125.0%）プログラム参加者における終了者の割合[実績値　終了者数合計3名／参加者数4名＝75%]	

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

7 事業名		服薬者保健指導（健保連共同事業）								
健康課題との関連		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い								
分類										
注1)事業分類	計画	4-力	実施主体	計画	1．健保組合		予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規
	実績	4-力		実績						
共同事業		共同事業ではない								
事業の内容										

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	オ,ク,ケ,シ	実施方法	計画	健診の結果、血糖・血圧で服薬ありと回答し、コントロール不良のの者に対し、生活習慣改善と治療の継続を目的とする。 1.対象者の抽出：前年健診データから、選定基準に基づき対象者を抽出。 2.実施方法：面談指導	予算額	0千円
	実績	オ,ク,ケ,シ		実績	健診の結果、血糖・血圧で服薬ありと回答し、コントロール不良のの者に対し、生活習慣改善と治療の継続を目的とする。 1.対象者の抽出：前年健診データから、選定基準に基づき対象者を抽出。 2.実施方法：面談指導		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ	実施体制	計画	健保連の共同事業（外部機関）	決算額	15 千円
	実績	ア,ウ		実績	健保連の共同事業（外部機関）		
実施計画 (令和5年度)	重症化予防・周辺支援						
振り返り	実施状況・時期		服薬者保健指導 対象者数 53名 参加者数 7名 終了者数 5名 途中終了 2名 実施率 9.4%				
	成功・推進要因		食生活目標の改善が見られた、運動習慣の改善は数名であったが腹囲、体重に変化あり				
	課題及び阻害要因		服薬中で医療的管理下にはあるが依然重症化リスクの高い対象者であり、該当者全員に実施され、生活習慣の改善につながる必要がある。 周知を強化し、本プログラムの啓蒙に努める。 また、喫煙の改善にも努める				
評価	1．39%以下						
事業目標							
対象者の生活習慣の改善、適正な治療の継続。							
アウトプット指標		プログラムの実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：20%/13.2% 【達成度】 66.0%）-[参加者数7名／対象者数53名＝13.2%]					
アウトカム指標		プログラムの終了率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：60%/71.4% 【達成度】 119.0%）-[終了者数5名／参加者数7名＝71.4%]					
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				



8	事業名	重症化予防プログラム（組合運営サポート事業）							
健康課題との関連		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い							
		契約医療機関が遠いなど、一部の地域で特定保健指導実施率が低い							
分類									
注1)事業分類	計画	4-力	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規
	実績	4-力		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 49～58 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 49～58 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	イ,オ,ク,ケ,サ	実施方法	計画	前期高齢者対策として、血圧、血糖、脂質において基準値をこえているものに対し、生活習慣の改善に関する相談と指導、適正な医療管理に関する情報提供を実施。	予算額	0千円		
	実績	イ,オ,ク,ケ,サ		実績	前期高齢者対策として、血圧、血糖、脂質において基準値をこえているものに対し、生活習慣の改善に関する相談と指導、適正な医療管理に関する情報提供を実施。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ	実施体制	計画	組合運営サポート事業（外部機関）	決算額	0千円		
	実績	ア,ウ		実績	組合運営サポート事業（外部機関）				
実施計画 (令和5年度)		対象を50歳以上として、重症化を防ぐ							
振り返り	実施状況・時期		対象者数	43名					
			参加者数	35名					
			終了者数	26名					
			途中終了	17名					
実施率			60.5%						
成功・推進要因		事業所の勧奨により参加者数、実施率も高かった							
		課題及び阻害要因		重症化リスクの高い対象者であり、該当者全員に終了まで実施する必要がある					
評価		3．60%以上							
事業目標									

前期高齢者対策として、血圧、血糖、脂質において基準値をこえているものに対し、生活習慣の改善に関する相談と指導、適正な医療管理に関する情報提供を実施し、合併症や重症化を防ぐ。			
アウトプット指標 プログラムの実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：30%/81.4% 【達成度】 100%）対象者の送付100%実施 実施率は20%以上[参加者数35名／対象者数43名＝81.4%]			
アウトカム指標 プログラムの終了率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：90%/74.3% 【達成度】 82.6%）プログラム参加者における終了者の割合[終了者数26名／参加者数35名＝74.3%]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

9 事業名		健康診査							
健康課題との関連		該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）							
分類									
注1)事業分類	計画	3-キ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-キ <th>実績</th> <td>1．健保組合</td>		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 35 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 35 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	県内の健診会場の設置	予算額	12,870千円		
	実績	ス		実績	県内の健診会場の設置				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	契約医療機関	決算額	13,303 千円		
	実績	ス		実績	契約医療機関				
実施計画 (令和5年度)		・巡回のよる健診 ・健診会場における保健指導							

振り返り	実施状況・時期		受診者数 1,910名 設置健診会場 1,298名 自社健診 612名					
	成功・推進要因		健診結果内訳 異常なし 583名 30.5% 経過観察 696名 36.4% 有所見者 631名 33.0%					
	課題及び阻害要因		有所見者の割合が昨年より69名減少しているが、今後も若年層の健診、保健指導に努める					
	評価		4．80%以上					
	事業目標		対象者の100%受診					

アウトプット指標		実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） -[-]					
アウトカム指標		事業評価をするものでない (アウトカムは設定されていません)					

外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

10	事業名	生活習慣病健診（半日人間ドック）					
健康課題との関連	生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い						

分類									
注1)事業分類	計画	3-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-イ		実績	1．健保組合				
共同事業	共同事業ではない								

事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者					

	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35 ～ 74 対象者分類 被保険者					
注2)プロセス分類	計画	エ,オ,コ,シ	実施方法	計画	施設健診	予算額	68,216千円
	実績	エ,オ,コ,シ		実績	施設健診		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ,キ,コ	実施体制	計画	契約健診機関・医療機関にて実施	決算額	77,232 千円
	実績	ア,ウ,キ,コ		実績	契約健診機関・医療機関にて実施		
実施計画 (令和5年度)	・対象者への受診案内						
振り返り	実施状況・時期		受診者数 3,266名 県内 3,200名 県外 66名 健診結果内訳 異常なし 14名 0.4% 経過観察 865名 26.5% 有所見者 2,387名 73.1%				
	成功・推進要因		受診勧奨を299名に行い、59名が受診し、勧奨前受診を含め36名が服薬に結び付いた				
	課題及び阻害要因		有所見者率が7割と高く、受診の有無を把握することに努める。 受診勧奨値の方に通知を強化し受診、服薬等指導に努める。				
評価	4．80%以上						
事業目標							
対象者の100%実施							
アウトプット指標		送付率（特定健診）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）特定健診受診率をアウトプットとして位置付ける[-]					
アウトカム指標							
受診率（特定健診）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：48.2%/73.1% 【達成度】 51.9%）特定健診受診率をアウトカムとして位置付ける[精密検査や保健指導を実施し、有所見率の減少に努める 有所見者数2,387名 73.1% (100-73.1)／(100-48.2)=51.9%]							
外部委託先	計画	外部委託しない					

	実績	委託の有無	外部委託しない
--	----	-------	---------

11	事業名	歯科検診（若年者）							
健康課題との関連		特定保健指導対象外の若年者や非肥満者の中に、生活習慣病のリスク保有者が一定数存在する							
分類									
注1)事業分類	計画	3-エ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-エ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～35 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～35 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ウ,ク	実施方法	計画	仙台市歯科医師会の実施機関により受診	予算額	220千円		
	実績	ウ,ク		実績	仙台市歯科医師会の実施機関により受診				
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	35歳の被保険者を対象とし健診費用を負担する	決算額	35 千円		
	実績	キ		実績	35歳の被保険者を対象とし健診費用を負担する				
実施計画 (令和5年度)		35歳の加入者を対象として、歯科検診の案内と費用補助を行う							
振り返り	実施状況・時期		生活習慣病健診対象年齢の35歳に歯周病予防と健康管理・食生活等を意識づけるため実施 7月～11月 対象者数 95名（男性79名、女性16名） 参加者数 8名（男性6名、女性2名） 参加率 8.4%						
	成功・推進要因		少しずつ事業が浸透している						
	課題及び阻害要因		参加率が1桁台であり、事業の周知・広報、事業所への事業説明等を強化すること また、この事業が宮城県を主として実施しており、他県の歯科検診を活用できていない						
評価		1．39%以下							
事業目標									

検診を提供することで歯周病予防につなげる									
アウトプット指標		案内送付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100%　【達成度】 100.0%）-[予算額は若年者・63歳以上を含めた額としている]							
アウトカム指標		検診受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：20%/8.4%　【達成度】 42.0%）-[-]							
外部委託先		計画	外部委託しない						
		実績	委託の有無	外部委託しない					
12	事業名	歯科検診（前期高齢者対策）							
健康課題との関連	生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い								
分類									
注1)事業分類	計画	3-エ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-エ		実績	1．健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 63 ～ 63 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 63 ～ 63 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ウ,ク	実施方法	計画	仙台市歯科医師会の実施機関により受診			予算額	0千円
	実績	ウ,ク		実績	仙台市歯科医師会の実施機関により受診				
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	63歳の被保険者及び被扶養者を対象とし健診費用を負担する ※予算額は歯科検診（若年者に一括計上）			決算額	35 千円
	実績	キ		実績	63歳の被保険者及び被扶養者を対象とし健診費用を負担する ※予算額は歯科検診（若年者に一括計上）				
実施計画 (令和5年度)	63歳の加入者を対象として、歯科検診の案内と費用補助を行う								

振り返り	実施状況・時期		前期高齢者対策として7月～11月で実施 対象者数 96名（被保険者72名、被扶養者24名） 参加者数 8名（被保険者5名、被扶養者3名） 参加率 8.3%
	成功・推進要因		健診結果（歯周治療・未処理歯）で要治療者も多く、治療期間が長くなるため、前期高齢者対策としてはこの時期に実施することが有効と考える
	課題及び阻害要因		既に治療中の方も多く、参加率は低いが歯科治療の必要性が今後の生活の質をあげていくことを周知する必要がある。
評価	1．39%以下		
事業目標			
前期高齢者である65歳を迎える前に歯周病の確認と治療を行う			
アウトプット指標		案内送付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） -[-]	
アウトカム指標		検診受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：30%/8.3% 【達成度】 27.7%） -[治療継続者が健診に参加していないため実績値が低い]	
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

13	事業名	精密検査（二次検査）							
健康課題との関連		新生物による医療費は医療費全体の10.9%であり、医療費に占める割合が高い							
分類									
注1)事業分類	計画	4-オ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-オ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35 ～ 74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35 ～ 74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	契約健診機関や医療機関での健診当日や健診後受診にて実施する			予算額	5,600千円
	実績	イ		実績	契約健診機関や医療機関での健診当日や健診後受診にて実施する				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	契約健診機関や医療機関にて実施し、全額を健保負担で実施			決算額	4,819 千円

	実績	ス		実績	契約健診機関や医療機関にて実施し、全額を健保負担で実施					
実施計画 (令和5年度)		精密検査の80%以上の実施								
振り返り	実施状況・時期		対象者数 303名 受診者数 232名 実施率 76.6%							
			受診内訳（延べ人数） 消化器系 177名 呼吸器系 46名 循環器系 14名							
			受診結果 異常なし 33名 14.2% 経過観察 134名 57.8% 有所見者 65名 28.0%							
	成功・推進要因		事業所の受診勧奨は定着している。							
	課題及び阻害要因		未受診者の受診勧奨が必要である。							
評価		3．60%以上								
事業目標										
新生物関連の早期発見・早期治療										
アウトプット指標		案内送付率（【平成29年度末の実績値】80%【計画値/実績値】令和5年度：100%/100% 【達成度】100.0%）実施の促進(案内送付率100%) [-]								
アウトカム指標		実施率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：80%/76.6% 【達成度】95.7%）実施率を80%以上[受診者数232名／対象者数303名＝実施率76.6%]								
外部委託先	計画	外部委託しない								
	実績	委託の有無	外部委託しない							
14	事業名	脳検診								
健康課題との関連		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い								
分類										
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)	
	実績	3-ウ		実績	1．健保組合					

共同事業	共同事業ではない									
事業の内容										
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ 74 対象者分類 被保険者								
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ 74 対象者分類 被保険者								
注2)プロセス分類	計画	ク,ス	実施方法	計画	高リスク保有者を抽出し案内を送付する				予算額	1,566千円
	実績	ク,ス		実績	高リスク保有者を抽出し案内を送付する					
注3)ストラクチャー分類	計画	キ,ス	実施体制	計画	契約検診機関にて実施				決算額	1,111 千円
	実績	キ,ス		実績	契約検診機関にて実施					
実施計画 (令和5年度)	40歳以上で肥満・高血圧症・高脂血症・糖尿病等の所見を有する希望者を優先的に実施									
振り返り	実施状況・時期 対象者数 264名 受診者数 123名 実施率46.6% 受診結果 特に異常なし 53名 43.1% 経過観察 59名 48.0% 要説明 9名 7.3% 精密・治療 2名 1.6%									
	成功・推進要因 半日人間ドック等の結果より、高リスク者43名に案内をし8名が受診をしている									
	課題及び阻害要因 高血圧症、高脂血症、糖尿病等で高値で高リスク者に受診促進をする。									
評価	2．40%以上									
事業目標										
高リスク者の脳疾患の早期発見、早期治療										
アウトプット指標 参加率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）高リスク者へ100%送付[-]										
アウトカム指標 健診枠に制限があり評価する事業としていないため (アウトカムは設定されていません)										
外部委託先	計画	外部委託しない								

	実績	委託の有無	外部委託しない						
15	事業名	前立腺検診							
健康課題との関連		新生物による医療費は医療費全体の10.9%であり、医療費に占める割合が高い							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ウ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男性 年齢 50～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男性 年齢 50～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	半日人間ドック健診でP S A検査を実施	予算額	2,420千円		
	実績	ス		実績	半日人間ドック健診でP S A検査を実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	契約検診機関にて実施	決算額	3,441 千円		
	実績	ス		実績	契約検診機関にて実施				
実施計画 (令和5年度)		50歳以上の被保険者（男性）を対象に生活習慣病健診に合わせて実施							
振り返り	実施状況・時期		対象者数 1,577名 受診者数 1,412名 実施率 89.5% 受診結果 正 常 1,337名 94.7% 経過観察 1名 0.1% 再検査・精密 1名 0.1% 治 療 45名 3.2% 治療継続 28名 1.9%						
	成功・推進要因		半日人間ドックの健診項目にPSAを加え、血液検査の一環で実施しているため、実施率が高い						
	課題及び阻害要因		半日人間ドックを希望せず、健康診査を受診される方に対し、前立腺検査を実施できない。 健診結果で要治療者の未受診状況の把握、受診促進						

評価	4. 80%以上		
事業目標			
前立腺癌の早期発見・予防			
アウトプット指標 実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：95%/89.5% 【達成度】 94.2%） -[受診者数1,412名／対象者数1,577名＝実施率89.5%]			
アウトカム指標 特定の年齢の者のみを実施しており、事業を評価するものでないため (アウトカムは設定されていません)			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

16	事業名	婦人科等検診							
健康課題との関連		新生物による医療費は医療費全体の10.9%であり、医療費に占める割合が高い							
分類									
注1)事業分類	計画	4-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-キ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～70 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～70 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	市区町村でのがん検診の受診促進を含め案内する。 医療機関や半日人間ドック等に合わせて実施			予算額	2,390千円
	実績	ス		実績	市区町村でのがん検診の受診促進を含め案内する。 医療機関や半日人間ドック等に合わせて実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	市区町村のがん検診への助成 半日人間ドック等健診時への助成 医療機関等で自費健診を実施した時の助成			決算額	2,294 千円
	実績	ス		実績	市区町村のがん検診への助成 半日人間ドック等健診時への助成 医療機関等で自費健診を実施した時の助成 組合サポート事業を活用した健診				

実施計画 (令和5年度)	30以上の被保険者、被扶養者（配偶者）を対象に各種検診（乳癌、子宮癌、大腸癌、胃癌）の一部助成		
振り返り	実施状況・時期	対象者数 1,780名 被保険者 618名 被扶養者 1,162名 実施者数 651名 実施率 36.6% 対前年比 150名増 129.9% 受診内訳 乳癌 被保険者 276名 被扶養者 193名 対前年比 123名増 135.5% 子宮がん 被保険者 269名 被扶養者 238名 対前年比 124名増 132.4% 大腸がん 被保険者 2名 被扶養者 103名 対前年比 6名減 94.6% 胃癌 被保険者 3名 被扶養者 95名 対前年比 5名増 105.4%	
	成功・推進要因	・組合サポート事業の活用でレディース健診時に合わせて実施でき、乳がん・子宮がん検診を述べ111名受診増につながり、実施率、実施数も大きく伸びた。 ・従来の費用補助、各種健診時の同時受診、費用請求の省略化等、利用内容の周知ができています。 事業所において、女性全員に婦人科検診費用の負担も継続している	
	課題及び阻害要因	実施率向上と合わせて、受診結果の把握、再検査以上の方のその後の受診状況、結果の把握、未受診者への受診勧奨	
	評価	1．39%以下	
	事業目標		
婦人科検診の受診促進			
アウトプット指標			
送付率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：100%/100% 【達成度】100.0%）対象者に100%送付を実施[ホームページ開設に伴い、令和5年度で送付を中止する送付率は事業所説明時に配付を実施している]			
アウトカム指標			
他の機関で実施した、検診費用に一部補助するものであり、検診結果等の把握もなく事業を評価するものでない (アウトカムは設定されていません)			

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

17	事業名	禁煙対策事業									
健康課題との関連		特定保健指導対象者の割合が24%と組合全体平均、業態平均よりも高い									
分類											
注1)事業分類	計画	5-才	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	5-才		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない									
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 74 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ 74 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	組合サポート事業の卒煙プログラムの活用			予算額	0千円		
	実績	ク		実績	組合サポート事業の卒煙プログラムの活用						
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	健保独自に事業所を経由して案内 健診機関の特定保健指導時の周知案内			決算額	0千円		
	実績	キ		実績	健保独自に事業所を経由して案内 健診機関の特定保健指導時の周知案内						
実施計画 (令和5年度)		特定健診の問診結果から対象者を抽出 禁煙プログラムの案内と費用補助を行う									

振り返り	実施状況・時期	参加事業所数 13事業所（任継1名あり） 参加人数 31名 卒煙成功者 4名 禁煙成功中 14名 禁煙失敗 13名 卒煙率 12.9%
	成功・推進要因	・40歳以上喫煙者(問診確認)へDM送付を年2回 ・事業所担当者説明会、HP掲載の実施 ・40歳未満や被扶養者の利用も増えた ・新入社員の加入時、セルフケア研修会等を通じ周知を行った
	課題及び阻害要因	・若年層の喫煙率の把握が出来ていない ・新入社員への周知不足

評価	1. 39%以下
----	----------

事業目標

喫煙者における禁煙行動の開始を促し、禁煙を達成することにより喫煙者の減少をはかる

アウトプット指標	
プログラム参加者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：30人/6人 【達成度】 20.0%）令和3年度実績34名参加を踏まえ、令和4年度目標変更30名[参加者数31名、卒煙者数4名（R6.6現在）]	
アウトカム指標	喫煙率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：36%/38.4% 【達成度】 106.7%）特定健診の問診項目 令和3年度問診回答 942名喫煙有り39.1%を踏まえ、令和4年度も3年度目標を継続[半日人間ドック等(40歳以上3,092名)、問診喫煙者1,187名 1,187名／3,092名＝38.4%]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

18 事業名 疾病予防対策救急薬品の配布

健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
----------	-----------------------

分類

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	8		実績	1. 健保組合				

共同事業	共同事業ではない
------	----------

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ 74 対象者分類 被保険者						
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ 74 対象者分類 被保険者						
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	事業所への常備薬の配置		予算額	4,800千円
	実績	ス		実績	事業所への常備薬の配置			
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	事業所に必要な常備薬の選択を実施し、常備薬を配付する		決算額	5,597 千円
	実績	ス		実績	事業所に必要な常備薬の選択を実施し、常備薬を配付する			
実施計画 (令和5年度)	事業所救急薬の配布							
振り返り	実施状況・時期 事業所常備薬（内服薬等）を各事業所、営業所に配布							
	成功・推進要因 職場での初期症状や緊急時に使用されており、受診抑制（時間外・休日）の成果に努めた							
	課題及び阻害要因 特になし							
評価	2．40%以上							
事業目標								
職場での初期症状や緊急時に使用し、受診抑制（時間外・休日）の図る								
アウトプット指標 配布回数（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回 【達成度】100.0%）-[-]								
アウトカム指標 常備薬を配布するものであり、事業評価をするものでない (アウトカムは設定されていません)								
外部委託先	計画	外部委託しない						
	実績	委託の有無	外部委託しない					

19	事業名	インフルエンザ予防接種							
健康課題との関連		該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）							
分類									
注1)事業分類	計画	3-カ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-カ		実績					

共同事業		共同事業ではない					
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ 74 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ 74 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	助成形式	予算額	7,200千円
	実績	ス		実績	助成形式		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	各自接種	決算額	6,074 千円
	実績	ス		実績	各自接種		
実施計画 (令和5年度)		予防接種費用の一部を補助する。					
振り返り	実施状況・時期 対象者数 被保険者 5,245名 被扶養者 4,272名 合 計 9,517名 接種者数 被保険者 2,063名 被扶養者 1,000名 合 計 3,063名 接種率 被保険者 39.3% 被扶養者 23.4% 合 計 32.2% 接種者数(対前年比) 被保険者 383名増 122.8% 被扶養者 77名減 92.9% 合 計 306名増 111.1% 成功・推進要因 助成の実施によりインフルエンザの予防感染拡大の抑制に対する意識の向上、脳症等の重度後遺症の予防 課題及び阻害要因 インフルエンザ感染防止の周知を続ける						
評価	1. 39%以下						
事業目標							

インフルエンザの予防感染拡大の抑制と脳症等の重度後遺症の予防			
アウトプット指標 案内率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/0% 【達成度】 0.0%）対象者へ100%実施[ホームページによる周知に変更のため、実施値なし]			
アウトカム指標 実施率（【平成29年度末の実績値】 35%【計画値/実績値】 令和5年度：50%/32.2% 【達成度】 64.4%） -[-]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

20	事業名	体育奨励補助事業							
健康課題との関連		生活習慣病（循環器疾患、内分泌・栄養・代謝疾患）に関連した医療費が、全体の21.2%と高い割合を占め、特に高血圧、糖尿病の患者数が多い							
分類									
注1)事業分類	計画	5-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	5-イ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ,シ,ス	実施方法	計画	スポーツクラブの利用斡旋 運動習慣割合の公表をスコアリングレポートを活用し実施		予算額	0千円	
	実績	キ,シ,ス		実績	スポーツクラブの利用斡旋 運動習慣割合の公表をスコアリングレポートを活用し実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ス	実施体制	計画	スコアリングレポートの公表 半日人間ドック健診問診項目の運動習慣割合の減少確認		決算額	0千円	
	実績	ア,ス		実績	スコアリングレポートの公表 半日人間ドック健診問診項目の運動習慣割合の減少確認				
実施計画 (令和5年度)		スポーツクラブと提携し、加入者が利用しやすいよう環境を整える							

振り返り	実施状況・時期		スポーツジム 利用事業所数 8事業所 利用者数（延べ人数）480名
	成功・推進要因		運動習慣改善率が微増しており、運動意識の向上につながっている
	課題及び阻害要因		特になし
評価	1．39%以下		
事業目標			
適切な運動習慣を有する者が増加し、生活習慣病リスクの低減につながる			
アウトプット指標 利用者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：40人/40人 【達成度】100.0%）-[年間480人（延べ人数）／12]			
アウトカム指標			
運動習慣を有する者の割合（【平成29年度末の実績値】 20.2%【計画値/実績値】 令和5年度：20%/20.3% 【達成度】101.5%） 令和3年度実績 16.6%（問診回答 運動習慣あり400名／2,411名受診）			
スコアリングレポート参考資料運動習慣を基準とし、健保独自に集計[半日人間ドック等(40歳以上3,092名)			
スコアリングレポート参考資料運動習慣（適切な運動習慣を有する者の割合）運動習慣質問3種混合 問診571人／2,808人＝20.3%]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ＩＣＴの活用（情報作成又は情報提供でのＩＣＴ活用など）
オ．専門職による対面での健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ．定量的な効果検証の実施 ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ．事業主と健康課題を共有 ス．その他

注3) ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ．他の保険者との共同事業 オ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ．自治体との連携体制の構築
キ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク．保険者協議会との連携体制の構築 ケ．その他の団体との連携体制の構築 コ．就業時間内も実施可（事業主と合意） サ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
シ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス．その他